



# 日耳鼻医会 FAXニュース

平成27年12月7日発行 第233号

## ◎平成27年度医会長協議会開催される

11月29日(日)、午後0時半より八重洲ファーストフィナンシャルビルで、15都県の医会長が出席して開催された。

伊東理事長の「今回は成人の難聴者への補聴器装用の啓発について日耳鼻医会としてどのような活動が必要か、忌憚のない意見を伺いたい」という挨拶の後、協議に入った。報告事項の概要は以下の通り、

1)平成26年12月～27年11月までの活動について報告  
全理事会6回、医会長協議会1回、総会1回、日本臨床分科医会代表者会議2回、鹿児島で第40回臨床家フォーラム開催、会誌「かがみ」3回発行、FAXニュース12回発行、ポスター4枚発行、

2)第40回臨床家フォーラム報告  
7月19・20日、鹿児島県市町村自治会館とレンブラントホテル鹿児島で鹿児島耳鼻咽喉科医会の担当で開催、登録者数201名、収入は829万円で収支差額は0。

3)第41回臨床家フォーラム案内  
平成28年9月18・19日、山口県下関市の海峡メッセ下関で開催予定。スローガン「草莽崛起」。講演に「補聴器関連」「超音波診断」「アレルギー性鼻炎関連」「小児難聴」などを検討。

4)日本臨床分科医会代表者会議報告  
第13回は本年1月30日、日医会館で開催。「各科における啓発活動(含むマスコミ対策)」で討議。

第14回は8月27日、日耳鼻医会事務所で開催。1)学校健診2)医療類似行為3)認知症への取り組みなど討議。

5)平成27年度公立学校レセプト調査中間報告  
37都道府県の734医療施設が協力。公立学校1/20抽出調査では、1日当り点数は本人447点、家族377点で共に微増、1件当り点数は本人617点、家族622点で共に微減、受診日数は本人1.4日、家族1.7日で前年と同じ。詳細は会誌「かがみ」に報告

上記報告の後「成人難聴者の補聴器装用への啓発活動について」の協議が阿部副理事長の司会で行われた。

阿部副理事長の「昨年の医会長協議会での武見敬三参議院議員の講演と本年6月の総会での福島先生の講演で、日耳鼻医会として今後成人難聴者への補聴器装用の必要性の啓発活動を行うべきと考えている」との説明の後、伊東理事長がアンケート集計結果の概要を報告。

その後、各医会の「耳の日」への取り組み、公費助成の現状などの意見交換が行われた。ただ、日耳鼻医会の今後の取り組みには具体的な結論は出なかった。

協議会の後、「耳鼻科医が向き合う補聴器」と題して関谷芳正先生(名古屋市・関谷耳鼻咽喉科)の講演があり、今後益々補聴器は進化して、難聴者がスマホで自分でフィッティングを行う時代が来るかもしれないなど、有益な興味ある講演であった。詳細は会誌「かがみ」に掲載予定。

## 補聴器に関するアンケート集計結果

【回答総数】552(41都道府県より)

【無床診療所468(86%) 有床診療所26(4.8%) 耳鼻科病院20(3.7%) 耳鼻科併設病院24(4.4%) 不明14】

【学会認定補聴器相談医 359(65.2%)】

【補聴器外来の有無 有り229(41.4%) 無し316(57.4%)】

【言語聴覚士の有無 有り33(6%) 内訳 無診19、有診2  
耳科病院5、併設病院5 不明5】

【通常行う検査 標準純音聴力検査98.7% 語音聴力検査48.3% チンパノメトリー58.6% 内耳機能12.9% など】

【補聴器店への情報提供書 良く書く&書く 447(81%)】

【フィッティング 自院 137(24.9%)、補聴器店436(79%)】

【装用後のフォロー 自院166(30%) 補聴器店401(72%)】

【装用を勧める判断基準＝聴力検査などを参考、平均聴力レベル40dB以上が多い】

【公費の補助 必要72.4% 不必要20.5%】

【装用を促進するための活動＝補聴器の価格を下げる、補聴器装用のメリットのPR、販売店との連携、マスコミの利用など】 詳細は会誌「かがみ」に掲載予定

## ■16年度改定「ネットプラスを目指す」

中川俊男日医副会長は11月26日、武見敬三参議院議員の政治資金パーティーの挨拶で「25日の記者会見を受けて、一部の全国紙が『日医の横倉義武会長は(2016年度診療報酬改定において)ネット改定率マイナスを容認した』と報道したが、これは誤報だ。日医の横倉執行部はネットプラス改定を目指している」と述べ、執行部の方針を改めて説明した。

また「アベノミクスに基づき大手企業は今年度2.5%賃金を上げた。日本の医療機関に従事する約300万人の人員費を2.5%上げるためには、医療費ベースで4700億円必要になる。これはちょうど薬価改定財源に相当する。(日医は)これを全力で求めていく」と強調。ネットプラス改定の財源としては▽薬価改定財源▽消費増税財源のうち社会保障の「安定化」に充てる財源—を挙げた。

## ■診療報酬引き下げへ 来年度厚労省など

厚労省と財務省は2016年度の診療報酬を引き下げる調整に入った。「薬価」と「本体」を合わせた全体でのマイナス改定は8年ぶりとなる。前回の14年度改定は消費税増税分の上積みを除くとマイナス改定で、実質的には2回連続の引き下げとなる。

医療費総額は15年度の見通しで43兆円。診療報酬を1%引き下げると医療費を4300億円削減でき、これにより国庫の負担が1110億円減るほか、患者の窓口負担も540億円減る。16年度は年金や介護で大きな制度改正は無いため社会保障費抑制目標の1700億円の大半を診療報酬引き下げで賄う必要がある。仮に本体部分が小幅なプラス改定になったとしても、薬価のマイナス幅を埋めることは難しく、全体ではマイナスになる見通し。

## ■ドライマウスの新治療法を開発

徳島大学大学院口腔顎顔面矯正学分野博士課程の佐藤南氏らの研究グループはこのほど、ドライマウスが低出力パルス超音波(LIPUS)の照射によって改善することを、マウス実験で確認したと発表した。炎症性サイトカインTNF $\alpha$ の発現が減弱し、唾液腺に局在する水チャネルが増強することで唾液分泌の増加が示されたという。同グループでは、ドライマウスに対する新たな非侵襲的治療法の開発につながるとの見解を示している。

「唾液腺分泌機能に対するLIPUSの奏功率や奏功時間の検討は必要だが、対症療法のみだったドライマウスの治療現場に福音をもたらす」とのコメントを発している。



### 定量噴霧式アレルギー性鼻炎治療剤

処方せん医薬品(注意—医師等の処方せんにより使用すること) 薬価基準収載

# アラミスト®点鼻液27.5 $\mu$ g 56噴霧用

## Allermist® 27.5 $\mu$ g 56metered Nasal Spray

フルチカゾンフランカルボン酸  
エステル点鼻液

※「効能・効果」、「用法・用量」、「用法・用量に関連する使用上の注意」、「禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

製造販売元(輸入) グラクソ・スミスクライン株式会社

TEL: 0120-961-007(9:00~18:00/土日祝日および当社休業日を除く)

〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-6-15 GSKビル | FAX: 0120-961-047(24時間受付)

2010.5

発行 (特)日本耳鼻咽喉科医会  
〒104-0031東京都中央区京橋2-11-8全医協連会館5F  
TEL(03)5524-5230 FAX(03)5524-5228  
HP: <http://www.jenti.or.jp> E-mail [jimu@jenti.or.jp](mailto:jimu@jenti.or.jp)